

H20年度総合評価(子ども支援課所管施設)						
施設名	池田保育園	なかよし療育センター	旭ヶ丘児童センター	根本児童センター	市之倉児童センター	
指定管理者名	(福)いしずえ会	(福)社会福祉協議会	(福)社会福祉協議会	(福)社会福祉協議会	(福)社会福祉協議会	
指定期間	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	
設置目的	保育に欠ける乳児又は幼児を保育することを目的とする。	心身に障害のある幼児に対し、通園の場を設け、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練、相談及び健診を行い、その育成を支援するための心身障害児通園施設。	本市に居住する幼児及び少年に健全なる遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするための指導をおこなう施設。			
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好	良好	
	市事業の実施	良好	良好	良好	良好	
	自主事業	—	良好	良好	良好	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	良好	良好	
	その他管理	良好	不備が目立つ	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	102,962,289	38,050,000	9,915,751	10,632,684	9,605,596
	内利用料金収入	3,880,440	—	—	—	—
	内指定管理料	96,341,419	38,050,000	9,723,000	10,350,000	9,387,000
	支出	104,634,323	45,209,854	11,080,884	10,814,545	11,377,790
	収支	-1,672,034	-7,159,854	-1,165,133	-181,861	-1,772,194
市民利用者の声の反映	良好	不備が目立つ	良好	良好	良好	
全体的評価	保育所管理・保育所運営自体は概ね市の方針を踏まえており良好である。入所児童数が年間通じて定員に満たず、収入不足となったため赤字収支となった。	個人情報保護以外の項目については、良好に運営されていたが、施設を管理運営する上で最も重要な個人情報保護の管理ができていなかったため、低い評価となった。 収支については、職員配置の変更及び給食運搬のために人を雇ったため、人件費が増加し大幅な赤字となった。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 低学年の児童や女児の来館が増えており本来の児童館機能が働き出している。 実際の職員配置数に変更はないが、新たにパート職員を採用しローテーションで配置することとしたため、収支が赤字となった。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 地域の特色を生かした事業を行い、地域の支援者との連携も良好である。 実際の職員配置数に変更はないが、新たにパート職員を採用しローテーションで配置することとしたため、収支が赤字となった。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 障がい者との交流やボランティア育成に積極的に取り組んでおり評価できる。 実際の職員配置数に変更はないが、新たにパート職員を採用しローテーションで配置することとしたため、収支が赤字となった。	
利用人数・前年度比増減率	延べ992人 (前年度比6.1%減)	延べ4,940人 (前年度比6.8%減)	延べ30,020人 (前年度比14.6%増加)	延べ32,221人 (前年度比21.0%増加)	延べ17,748人 (前年度比5.0%減少)	
増減の理由	年度の前半は、やや定員割れが生じていたが、後半は、ほぼ定員(90人)に近い入所があった。	保育園・幼稚園の併行通園児の人数と単独の通園児では一週間の通い方(日数)が違う。併行通園児の割合が増えたため。	施設内外の環境整備を実施した結果、安心して来館しやすい雰囲気が出来たことによると思われる。	特に乳幼児クラブの利用者が増加したことによる。	乳幼児クラブの参加者が減り、乳幼児と大人の利用者数が減少したため。	

H20年度総合評価(子ども支援課所管施設)						
施設名	脇之島児童センター	坂上児童館	本土児童館	共栄児童館	中央児童館	
指定管理者名	(福)社会福祉協議会	(福)社会福祉協議会	(福)社会福祉協議会	(福)社会福祉協議会	(株)日本保育サービス	
指定期間	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	5年(H18/4/1～H23/3/31)	
設置目的	本市に居住する幼児及び少年に健全なる遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするための指導をおこなう施設。					
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好	良好	期待以上
	市事業の実施	良好	良好	良好	良好	期待以上
	自主事業	良好	—	—	—	—
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	10,363,718	9,391,371	9,212,394	9,517,531	9,514,574
	内利用料金収入	—	—	—	—	—
	内指定管理料	10,161,000	9,146,000	9,067,000	9,277,000	9,330,000
	支出	9,850,349	10,195,201	10,100,899	11,757,717	9,400,749
	収支	513,369	-803,830	-888,505	-2,240,186	113,825
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	良好	良好	良好
全体的評価	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 自主事業は、障がい児とふれあい事業を行い、児童館における障がい児の居場所づくりを学校や保護者と連携しながら進めており評価できる。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 保育園、幼稚園などの他機関との交流を行い利用者から好評を得ている。 社会福祉協議会の全体の中で人事異動を行うため、職員の勤務年数の差により給与差が生じ、赤字となった。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 利用者とのコミュニケーションも良好で相談件数も増えている。 社会福祉協議会の全体の中で人事異動を行うため、職員の勤務年数の差により給与差が生じ、赤字となった。	協定書に基づき、事業を適正に実施している。 職員の勤務態度について良い評価を得ている。 社会福祉協議会の全体の中で人事異動を行うため、職員の勤務年数の差により給与差が生じ赤字となった。	協定書に基づき、事業を適正に実施している。 「クッキング保育」や「英語で遊ぼう」、「お父さんとの交流事業」など毎回参加者も多く、また事業内容についてもマンネリ化しないよう工夫されており評価できる。	
利用人数・前年度比増減率	延べ25,328人 (前年度比5.9%減少)	延べ26,603人 (前年度比5.7%減少)	延べ17,087人 (前年度比2.6%増加)	延べ27,447人 (前年度比5.4%増加)	延べ26,296人 (前年度比26.6%増加)	
増減の理由	全体的な児童数の減少によるものと思われる。	減少の理由は具体的には不明。	中高生の利用は減ったが、その他の個人利用が全体的に増えたことにより増加した。	気軽に立ち寄り利用する人が増えたことと思われる。	目標回数以上の事業展開により、参加者が増えたため全体の利用者が増えている。特に乳幼児親子の利用が増えている。	

H20年度総合評価(子ども支援課所管施設)

施設名	大原児童館				
指定管理者名	(株)日本保育サービス				
指定期間	5年(H18/4/1～H23/3/31)				
設置目的	本市に居住する幼児及び少年に健全なる遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするための指導をおこなう施設。				
報告書類等の提出状況	良好				
運営・利用状況	利用状況	期待以上			
	市事業の実施	期待以上			
	自主事業	—			
施設管理状況	施設管理	良好			
	備品管理	良好			
	その他管理	良好			
収支状況(円)	総収入	9,390,662			
	内利用料金収入	—			
	内指定管理料	9,080,000			
	支出	9,593,752			
	収支	-203,090			
市民利用者の声の反映	良好				
全体的評価	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 栄養士による子どもの栄養を考慮したレシピを利用した事業が定着し、毎回好評を得ている。また、利用者の声を聴いた迅速な対応についても評価できる。 収支赤字については人件費の増加により昨年度より支出が増えたため。				
利用人数・前年度比増減率	延べ28,572 (前年度比9.5%増加)				
増減の理由	乳幼児・園児を対象とした事業展開により、乳幼児親子の来館が増えた。				